

- ◆ 総合的な評価（案）において、苫小牧地区工業用水道案は「環境負荷が低いことに触れるべき」というご意見を踏まえ、当日配付資料（p.17）を一部修正

【議事4】総合的な評価（案） 《懇話会後》

表 総合的な評価（案）

赤字：懇話会後に追加

| 評価項目 | 千歳川 | 苫小牧地区工業用水道（安平川） | |
|-------|--|---|-------------------------------|
| 概要 | 整備（管）延長 | • L=約8 km | • L=約22km |
| | 主な施設 | • 取水施設、沈砂地、送水ポンプ場、浄水場、送水管 | • 送水ポンプ場、送水管（新たな取水施設や浄水場等は不要） |
| | JR等の交差物 | • 2箇所 | • 4箇所 |
| 協議・調整 | • 水利権の取得が必要 であり、事業計画の検討も含め 許可まで3年程度 必要。（工事着手は許可後） | • 水利権は取得済 であり、未売水量から供給。 • 給水区域の関係者への説明 が必要。 | |
| 環境影響 | <ul style="list-style-type: none"> • 正常流量を維持した上で動植物への影響などに配慮した取水方法等を検討し、新たな水利権を取得。 • 河川内の工事が必要であり、動植物の調査や流況への影響を踏まえた必要な対策を実施。 • 市街地の工事区間では、騒音・振動の規制区域で騒音・振動調査や必要な対策を実施。 | <ul style="list-style-type: none"> • 動植物への影響などに配慮された正常流量を維持しながら取水可能。 • 河川内の工事が不要（既存の取水施設等を活用）なため、環境負荷が低い。 • 工事区間では騒音・振動の低減する配慮が必要。 | |
| 事業期間 | • 5年間【2029年第一四半期に完成】 （うち工期：約3年） | • 3年間【2027年第一四半期に完成】 （うち工期：約2年） | |
| 事業費 | • 160～190億円 | • 170～200億円 | |

| | |
|--------|--|
| ✓ 総合評価 | <ul style="list-style-type: none"> ✓ 千歳川は、正常流量を維持した上で動植物の影響などに配慮した取水方法等の検討が必要だが、苫小牧地区工業用水道（安平川）は、動植物への影響などに配慮された正常流量を維持しながら取水可能。 ✓ 千歳川は河川内の工事を実施するため、環境影響を踏まえた調査・対策が必要だが、苫小牧地区工業用水道（安平川）は河川内の工事が不要なため、環境負荷が低い。（既存の取水施設等の活用） ✓ 事業費は管路延長が短い千歳川がやや安価。 ✓ 苫小牧地区工業用水道（安平川）は、水利権の取得や取水施設等の整備が不要なため、事業期間は千歳川より短期間。 ✓ 2027年の量産開始までに必要な水量を確保できる可能性が高いのは苫小牧地区工業用水道（安平川）。 |
|--------|--|

※ 将来的な水需要への対応については、**自然環境保全等に留意**した上で、千歳川やその他の水源など**本懇話会の案を参考**にするほか、**新たな水源の確保を検討**するなど、必要に応じて取水可能性を検討